TERRAとも
NPO 法人　地球市民友の会

第 12 号
2014(平成 26)年 4月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX : 0466-44-0452　E メール : npo.terratomo@gmail.com　HP : http//www.terratomo.com

春を告げる花は様々あるが・・・

春を感じさせる花はいろいろある。福寿草、梅の花、ふきのとう、タンポポ、なの花、水仙、・・・それらの中でも圧倒的なファンのいる花は桜である。とりわけ**ソメイヨシノ**は全国に植樹され、桜前線の北上にともない春の到来を全国に告げる代表的な花となっている。

昨年は、3月の２０日過ぎには満開だったが、今年は4月に入ってから満開を迎え、新年度のスタートにエールを送る桜であった。

上原公園の近く境川沿いに咲く桜（4月1日）

「さくら」は日本人が春の花として、こよなく愛している花であるというだけあって、「さくら」を題材にした歌も多い。さくら（森山直太朗）、桜坂（福山雅治）、さくら（唱歌）、さくら（ケツメイシ）、桜（川口恭吾）、桜（コブクロ）、ＳＡＫＵＲＡドロップス（宇多田ヒカル）、さくらんぼ（大塚愛）、桜色舞うころ（中島美嘉）、桜の時（ａｉｋｏ）＜「さくら」と聞いて連想する歌ｇｏｏランキング 2009 より＞

数ある「桜から連想する歌」の第１位は森山直太郎の「さくら」であった。「さくら　さくら　今、咲き誇る　刹那に散りゆく運命と知って・・・旅立ちの刻・・・泣くな友よ　今惜別の時・・・いざ舞い上がれ・・・またこの場所で会おう」と歌う。淡い色とほのかな香りの桜の花に託して、“旅立ちの時”の淡くせつなく懐かしい思いを鮮やかに歌い上げている。今では世代を超えて親しまれる桜のスタンダードナンバーになっているようだ。（他の歌も聴いてみようかな？）

地球市民友の会の２６年度の活動もスタートした。「明日の花、みんな今日の種の中」をモットーに、新たな花を咲かすべく取り組んでいきたいと考えている。
これまで当団体を支えてくださった皆様に感謝しますとともに、これからもどうぞご支援ご協力よろしくお願します。

花巻きずし作りに挑戦！

３月１５日（土）１２時半、東勝寺隣り澤野宅を会場に花の巻き寿司教室を開催した。

TERRAとも　日本語友の会で日本語を学んでいる生徒の「寿司づくりをやりたい」という要望に応えて実現した教室である。午前中お寺で日本語を勉強した後、生徒と先生その関係者１３名が集まり寿司づくりに挑戦した。

料理の先生の作り方を観察した後に、各自が巻きすだれを広げ、のりを敷き、ご飯や具材をのせて巻いて完成！なのですが、なかなか思うようにはいきません。先生の手ほどきを受けながら挑戦する表情は真剣そのもので、時間はかかったものの出来栄えは上々！

完成した巻き寿司に初めて包丁を入れる時、全員の目が一本の寿司に集中した。切り口が現れた瞬間、思わず歓声と拍手がわいた。この日は、バラと梅の花の二品に挑戦した。各自の作品ができあがると、写真に撮ったり、寿司を手に記念撮影をしたりと楽しい時間を過ごした。最後はお茶をいただきながら反省会。しばしおしゃべりに花が咲き、「次は何をしようか？」と次回を楽しみにする声があがった。

ことばカルチャ

ソメイヨシノとは？

この時期よく耳にする**桜前線**は、各地の桜「**ソメイヨシノ**」の開花予想日を線で結んだ線のことである。全国の桜の名所のうち８割がソメイヨシノだといわれているが、そのソメイヨシノとはどのような桜なのか。漢字では「染井吉野」と書く。染井吉野（ソメイヨシノ）は、江戸の染井村（現在の東京都豊島区駒込）の植木屋がオオシマザクラとエドヒガンを掛け合わせ作ったもので、桜の名所の奈良県吉野山にちなんで「吉野桜」と命名された。それが明治以降全国に広まっていった。しかし、吉野の桜はヤマザクラの仲間で、誤解を招くとして藤野博士が１９００年（明治３３年）、「ソメイヨシノ（染井吉野）」と命名して園芸雑誌に発表したことがきっかけで一般化された呼び名である。

東勝寺に響いた！メキシカン＆クラシックマリンバ

‘シェリトリンド’で広がる歌の輪

４月２６日（土）晴れ、午後６時。目に鮮やかな新緑の中に山野草やハナミズキ、八重桜など春の花々が美しい東勝寺の庭にメキシカンマリンバの軽快な音楽が響き渡った。第２回ＴＥＲＲＡともふれあいコンサート、今回は古徳景子さんとメキシコの仲間ロベルト・パロメケ、フランシスコ・ロペスの３人を迎えてのマリンバの演奏会となった。第１部では屋外でメキシカンマリンバの音色を、第２部では、ステージを本堂に移して２台のクラシックマリンバの音色を聴かせてくれた。彼らは、今月初めに来日して東京、花巻、石巻で復興支援コンサートも含めて精力的に演奏活動を行ってきた。そして明日はメキシコに戻るという最後の晩にもかかわらず３度のアンコールに応えるなど大変な熱演であった。アンコール曲のメキシコ民謡‘シェリトリンド’が演奏されると、南米につながる人々から湧き上った歌声が輪となり本堂全体に広がっていったのが印象的だった。来場した１８０人の聴衆は素晴らしい演奏に大きな拍手を送り続けた。

古徳さんは、現在マリンバの本場メキシコのチアパス州立芸術科学大学で准教授としてマリンバの指導をしながら音楽活動をされている。今や世界のマリンビストとしてその名を知られるようになった彼女は、藤沢出身で今後の活躍が更に期待されるアーティストである。

お寺の４月といえばお釈迦様の誕生をお祝いする月で、年に一度甘茶をいただく機会でもある。このコンサートには住職手作りの甘茶が特別に用意されていた。初めていただく方も多く、甘茶についての質問が殺到した。その不思議な甘さを味わいながらマリンバの音色を楽しみ大いに盛り上がった夕べだった。

お知らせ＆報告

☆ＮＰＯ法人地球市民友の会　第４回通常総会

日時：５月３１日（土）午後５時～　　場所：東勝寺

内容：　２０１３年度事業報告、収支報告

２０１４年度事業計画、収支計画、他

☆こども日本語教室：８月２０日（水）～２２日（金）予定

☆お泊まり会：日時：８月２３日（土）２４日（日）予定

☆流しそうめん：日時：９月６日（土）予定

☆年末国際交流会

日時：１２月２８日（日）予定

ＮＰＯ 地球市民友の会の紹介

同じ太陽を浴びる地球市民、みんな友だち。
来てよかった日本、住んでよかった湘南でありたい。
地球のみんなが明るく楽しい生活を送れることを
めざして活動をしています。

☆日本語友の会

日本語を必要とする外国籍の人に日本語を教えています。毎土曜日（他の曜日若干名）の午前１０時から１２時、東勝寺客殿において開講。（第１土曜日は休講）

☆異文化交流

日本の文化や習慣等を外国籍の人々に紹介したり、外国の文化や習慣等を紹介してもらうなど文化・芸術の振興を図り、広く交流を行う活動をしています。

◇国内外の音楽家を招いての**コンサート**　　◇**華道教室や茶道教室**

◇互いの国の文化や食べ物を通じて、外国籍の人たちと日本人との交流を図る活動
（**流しソーメンや年末国際交流会**）

☆子ども育成・支援

外国につながる子どもたちの学習支援やスペイン語を母国語とする子どもたちに母国の文化や言語を教える活動をしています。

＜子どもの学習支援＞

外国籍の小、中、高校生を対象に**MINTOMO 日本語教室**（湘南台文化センター）は第１、第３土曜日の９時半から１２時、**ひまわり日本語教室**（六会駅前公民館：亀井野１－５－２）は第２、第４土曜日の９時半から１１時半に学習教室を開いています。内容は、初歩的な日本語指導から学習支援などです。

＜スペイン語教室＞

外国籍の小、中、高校生を対象に湘南台公民館（土曜日）と長後公民館（月曜日）において母語としてのスペイン語教室を午前中に開講しています。

＜お泊り会＞

外国籍の子どもと日本の子どもが、相互理解を促進する活動として東勝寺を会場として１泊２日の共同生活を行っています。

私達の活動のサポーターになってください！

私達の活動へのご支援ご協力を宜しくお願いいたします

○　正会員　年会費２，０００円／１口以上
○　賛助会員　個人２，０００円／１口以上
　　団体２，０００円／５口以上

・正会員は活動にご参加いただける方（どの活動に参加するかは自由）
　賛助会員は活動に参加できないが、活動にご賛同いただける方。
・会費は４月１日から３月３１日までの１年間とします。